

あの頃の津山

院庄の風景と構城跡かまえ

(大正末期～昭和初期頃)



写真提供・江見写真館



現在の院庄(戸島の高台から南に向けて撮影)

手前に葺葺屋根の民家が数軒あり、その奥には水田が一面に広がっています。この写真は、大正末期から昭和初期頃に旧津山町が刊行した『津山町写真帖』に掲載されていて、題名は「院庄」となっています。

院庄は、鎌倉時代から室町時代にかけて美作国の守護所が置かれていたとされ、当時、美作国の政治の中心地であったようです。後に、美作一国を与えられた森忠政が、院庄の構城跡に入り、この地に城を築こうとしますが、最終的には、現在の場所(鶴山公園)に津山城を築城することになります。

『森家先代実録』には、構城跡に築城されなかった理由について、院庄に残る「にらみ合いの松」で有名な名古屋九右衛門と井戸宇右衛門との刃傷沙汰のために築城が中止になったという話や、構城は平野部にあり水害などの恐れがあるため、正式に城を築くまでの仮のものであったという話などが書かれています。

その後、構城跡の敷地は、周辺の農地開発によって次第に小さくなっていき、大正時代には、鉄道を敷設するため大量の土砂が採取され、今では本丸の一部を残すだけとなりました。現在の院庄一帯は、中国自動車道や工業団地が整備され、住宅や商業施設が立ち並ぶなど、町並みは大きく様変わりし、後ろに連なる山並みだけが当時の面影を残しています。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

図津山郷土博物館
☎22・4567



記号や文字を組み合わせて、人の表情を表現する顔文字は、横書きで使われることが多いよな。ここは一度、強引に縦書きで使ってみよう。まずは、笑顔↓(´▽´) 冊子を左に90度回転させて見ると見えるかな。お次は、泣き顔↓(´ロ´) 最後はお詫び。こんな(ばあやて) m() m()

美作国建国1300年を記念した事業の中で、わたしのおすすりは「美作国建国1300年記念」当地おもてなし弁当。関連行事に参加できない人も、美作地域の食材を使ったお弁当を食べることで、美作国建国1300年に関わってみませんか。7種類あるので、選ぶ楽しみもありますよ。(G)

美作国建国1300年記念事業のナルトAR写真ラリーに子どもと一緒に参加しています。美作国に設定されたポイントを巡り、スマートフォンでナルトの写真を撮っていきます。奈義の里ロードというコースを制覇すると、隠れポイントが登場。そこはなんと、那岐山の頂上！登るしかない(修)

今月の表紙

しなやかに
祭りを彩る津山情緒
4月1日
津山さくらまつり

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください